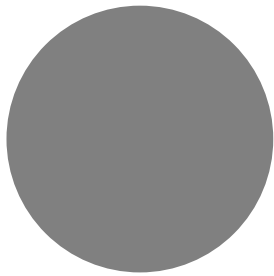


## エレギア語文法書





# 目次

第 1 章	序章	1
1.1	エレギア語の概要 . . . . .	1
第 2 章	書記体系	3
第 3 章	音韻体系	5
第 4 章	語根	7
第 5 章	格	9
第 6 章	品詞	11
第 7 章	文の構造	13
第 8 章	特殊な構文	15
第 9 章	語彙と辞書の使い方	17
第 10 章	例文と練習問題	19
第 11 章	付録	21
	索引	23



# 第 1 章

## 序章

### 1.1 エレギア語の概要

■言語の特徴、使用される場面、目的など エレギア語は砂漠の中のオアシスに造られた帝国、エレギア帝国の公用語である。

ハナス・ピスピという古代文明が存在していた頃に話されていたピスピ語からほとんど文法や発音が変わっておらず、多種多様な遺物がそのままの形で解読可能になっている。

数多くの書体が帝室によって採用されており、昨今ではオープンソース化されたデジタルフォントとなってウェブサイトにて配布されている。



## 第 2 章

# 書記体系





## 第 3 章

# 音韻體系



## 第 4 章

## 語根



## 第 5 章

## 格



## 第 6 章

## 品詞





## 第 7 章

# 文の構造



## 第 8 章

# 特殊な構文



## 第 9 章

# 語彙と辞書の使い方



## 第 10 章

### 例文と練習問題





## 第 11 章

## 付録



# 索引

エレギア語, 1

---